

事業名		【継続】 消防自動車更新事業			
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)			
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
10,100				10,100	
事業期間		平成30年度～			総事業費
【事業目的】 火災や災害時において確実に消防団活動が行えるよう、消防団各分団に配備している消防自動車のうち、年式の古い車両を年次計画で更新します。					
【事業概要】 平成9年式の車両7台について、既に20年経過しているため突発的な故障により緊急出動への影響が懸念されることから、H30年度から令和2年度の間、消防ポンプ自動車3台の更新を行っております。 令和3年10月に消防審議会より、各地区消防ポンプ自動車1台ずつ配備とし、残りの配備車両は小型動力ポンプ付き可搬積載車を配備するとの答申を受け、令和5年度以降、16・15・19分団車両を年次的に小型動力ポンプ付き可搬積載車へ更新予定であります。					
【参考写真】					
					
科目	9 款	1 項	3 目	目名称	消防施設費
事業計画	前年度まで			今年度	
	H30年度 14分団 R元年度 5分団 R2年度 3分団 R4年度 10分団(消防庁無償貸付)			R5年度 16分団	
				市民安全課	
				来年度以降	
			R6年度 15分団 R7年度 19分団		

事業名		【継続】 自主防災会組織強化事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,892					2,342	550
事業期間		令和元年度～			総事業費	
【事業目的】 大型化・激甚化する自然災害に対応するため、自主防災組織（自助・共助）の充実・強化が求められていることから、市内各地区の自主防災組織の再編・強化を推進し、「助けられる人から助ける人へ」を目標に地域の防災リーダーの育成と地域共助による自助の推進を図ることを目的として実施します。						
【事業概要】 ・ 自主防災会の再編（有明地区再編設立、三会・森岳地区の再編へ向けた協議） ・ 災害時避難行動要支援者個別計画策定の取り組み ・ 地域防災リーダー育成研修会等の開催 ・ 先進地視察研修の実施 ・ 自主防災組織の訓練活動に対する助成 ・ 地域防災マップ作成						
【積算根拠】 ・ 自主防災会研修費等 842千円 ・ 地域防災マップ作成費 550千円 ・ 自主防災組織活動補助金 1,500千円						
【イメージ図】						
						
自主防災リーダー等研修会			地域防災マップ作成支援			
						
自主防災組織活動訓練			先進地視察研修			
科 目	9 款	1 項	4 目	目名称	災害対策費	市民安全課
	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
事業計画	安中地区・白山地区・霊丘地区・杉谷地区自主防災会の組織の再編を図り、研修会、先進地視察、避難訓練、要配慮者見守り等を実施。			有明地区自主防災会の再編強化を図るとともに、他の地区においても自主防災会の再編、充実強化を図ります。		全地区で自主防災会組織の再編、充実強化が図られるまで継続して実施。

事業名	【新規】 避難所機能充実事業					
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)					
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
998					998	
事業期間	令和5年度 (単年度事業)			総事業費		
【事業目的】 全国各地で自然災害が頻繁に発生し、その災害が大規模化、多様化、激甚化する中、避難施設の開設頻度や避難者数が増加していることから、避難者の情報収集用として避難所にテレビを設置し避難所機能の充実を図ります。						
【事業概要】 テレビが設置されていない主要避難所14箇所にテレビを設置。						
【積算根拠】 ・テレビ設置（避難所14箇所） 998千円 〔三小、四小、三会小、湯江小、高野小、 島原文化会館、有明文化会館、 霊丘公園体育館、有明体育館、 島原高校、島原工業高校、島原中央高校 新湊町集合避難施設、平和会館〕						
【イメージ図】 						
【避難所】						
科目	9 款	1 項	4 目	目名称	災害対策費	市民安全課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			上記のとおり		—